

■小中学校の耐震診断結果（平成22年度以降改修の必要な校舎・屋内運動場）

| 学校名 | 建物区分(名称) | 構造 | 階数 | 建築年 | 診断結果(Is値) | 耐震改修状況 |
|--------|-------------------|----|----|-----|-----------|----------------|
| 鴻巣東小学校 | 普通教室棟(北校舎) | R | 4 | S55 | 2次診断 0.44 | 耐震化事業実施中 |
| | 屋内運動場 | S | 2 | 56 | ④ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 鴻巣南小学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 53 | ③ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 馬室小学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 55 | ④ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 田間宮小学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 55 | ④ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 箕田小学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 54 | ④ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 笠原小学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 52 | ④ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| | 特別教室棟(旧校舎) | R | 3 | 54 | 2次診断 0.67 | 耐震化事業実施中 |
| 常光小学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 53 | ④ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| | 特別・普通教室棟(旧校舎) | R | 3 | 54 | 2次診断 0.48 | 22年度改修中 |
| 鴻巣北小学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 54 | ④ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 松原小学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 56 | ④ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 吹上小学校 | 管理・特別・普通教室棟(木造校舎) | W | 2 | 11 | ※ | |
| | 特別・普通教室棟(鉄筋校舎) | R | 4 | 54 | 2次診断 0.35 | 22年度改修中 |
| 下忍小学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 56 | 1次診断 1.12 | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 大芦小学校 | 管理・特別・普通教室棟(校舎) | R | 4 | 56 | 2次診断 0.44 | 22年度改修中 |
| | 屋内運動場 | R | 2 | 56 | 2次診断 0.54 | 22年度改修中 |
| 屈巢小学校 | 屋内運動場 | S | 1 | 52 | 1次診断 0.64 | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 共和小学校 | 屋内運動場 | S | 1 | 52 | 1次診断 0.80 | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 広田小学校 | 屋内運動場 | S | 1 | 51 | 1次診断 0.80 | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 鴻巣中学校 | 管理・特別教室棟(管理棟) | R | 3 | 53 | 2次診断 0.39 | 22年度改修中 |
| | 特別教室棟 | R | 3 | 54 | 2次診断 0.64 | 耐震化事業実施中 |
| 鴻巣西中学校 | 屋内運動場 | S | 2 | 56 | ③ | 耐震化事業実施中(2次診断) |
| 吹上中学校 | 特別教室棟(技術科棟) | S | 1 | 40 | 1次診断 0.50 | |
| | プレハブ棟 | S | 1 | 56 | ④ | |

小中学校施設の耐震診断結果を公表します



鴻巣市の小中学校施設の耐震化率（平成22年4月1日現在）は75%で、対前年度に比べ8・7%の上昇となっています。今後は、平成25年度完了を目標に耐震化を図っていく予定です。なお、各学校施設の耐震診断結果は、市ホームページに掲載しています。お問い合わせ／教育総務課施設管理担当（内線72514）

表の説明

- この表は、新耐震基準施行(昭和56年)以前に建築された学校施設のうち、平成22年4月1日現在において未改修の施設を掲載しています(昭和57年以降に建築された施設や、平成21年度以前に耐震化を完了した施設を含む耐震化の状況は、市ホームページで公表しています)
- 「構造」欄の「R」は鉄筋コンクリート造、「S」は鉄骨造、「W」は木造を表しています
- 診断結果(Is値)欄の診断方法の意味は下記のとおりです。なお、教育委員会では、優先度調査・第1次診断調査の結果を受け、さらに詳細な第2次診断調査を行い、耐震改修の判定を行っています。
- (1) 丸囲み数字は「優先度調査」を示しており、第2次診断調査等実施の優先順位付けを行うためのもので、優先度の高いものから順に①から⑤となっています
- (2) 「第1次診断調査」は、個別の建物の耐震性

能を簡略に評価する診断方法です

- (3) 「第2次診断調査」は、個別の建物の耐震性能を詳細に評価する診断方法で、耐震補強内容の検討を行います

■Is値(構造耐震指標)とは、建物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。国土交通省告示第184号(平成18年)においてIs値について、Is値0.3未満は、大規模地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が高いとされ、Is値が0.6以上は、倒壊又は崩壊する危険性が低いとされています(文部科学省では、学校施設の耐震改修の目安をおおむね0.7以上としており、市教育委員会においてもこの考え方に準拠しています)

※吹上小学校の管理・特別・普通教室棟(木造)は、「木造住宅の一般診断法」による耐震診断の結果、上部構造評点が0.29(南側)、0.28(西側)となっています(上部構造評点1.0以上の建物は、耐震性能の有るものとなっています)

